

令和2年度 生涯学習・社会教育関係職員研修 実施報告③



実施日：令和2（2020）年6月3日（水）

☆当研修は、生涯学習・社会教育行政に携わる職員の方々に、生涯学習推進に必要な基礎的知識を提供している研修です。今回は、33名の方が御参加くださいました。

- 講話「生涯学習推進における行政職員への期待」
栃木県教育委員会事務局生涯学習課
主幹 丹治 良行



丹治主幹からは、生涯学習と社会教育の違いや社会教育行政の役割について話がありました。個人の要望や社会の要請に応えるには、行政が学びの機会をバランスよく用意することが大切であるとお話がありました。また、社会教育に携わる職員の皆様への期待も込めて、職員に求められる姿勢などについても触れました。

- 説明「国の関係法令・答申・計画と
本県の生涯学習推進計画について」
栃木県教育委員会事務局生涯学習課
社会教育主事 茂木 幹雄



茂木社会教育主事からは、社会教育行政職員が知っておくべき法令や答申、社会教育計画策定の目的と意義などについて説明がありました。つながる社会教育の実現には、「社会教育」を基盤とした、人づくり、つながりづくり、地域づくりが重要であるという話がありました。

- 新型コロナウイルス感染防止対策

研修の実施に際しては、感染防止のために入念な対策をとっています。

受付時には、センターの職員が受講者に対して手指の消毒を行い、当日の体調、マスクの着用を確認しています。その際、受講者同士の距離の確保にも努めています。



また、研修の定員を大幅に減らし、受講者同士の距離を2m以上確保できるよう座席を指定しています。さらに、部屋の換気を徹底し、受講者には、こまめな手洗い、うがいを促しています。今後も状況の変化をみながら、県民の皆様に学習機会を提供していけるよう、努力してまいります。



【感想】

- ・生涯学習と社会教育の違いをはっきり理解することができました。
- ・最近の答申についての説明が分かりやすく、ここ数年の流れについて整理できました。
- ・法制度を改めて確認することで、自らが現在行っている業務の意味や目標が分かりました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206

e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp